

2022年度

(2021年4月1日～2022年3月31日)

事業報告書

2022年5月10日

学校法人福寿

プロスペラ学院ビジネス専門学校

1. 学校の概要

(1) 教育理念

プロスペラ学院ビジネス専門学校は、教育基本法に則り、学校教育法に従いつつ、人格形成と共に社会情勢に即応し国際的視野に立って、実社会に役立つ人材を養成することを目的とする。この教育目的にもとづき、下記に示す知識・技能・態度を習得することを目指す。

- 1 実社会で求められる専門分野における知識・技能を身につけている
- 2 国際的な視野に立ち、多様な背景を持つ人々と共同できるコミュニケーション能力を身につけている
- 3 「あなたがいてわたしがいる」という言葉に表される、他者を思いやり理解する態度を身につけている

(2) 沿革

昭和 58 年 静岡市駿河区丸子 5522 番地の 1 にて開校
平成 4 年 「英語専修科」を設置
平成 6 年 「専門士」の称号を付与される
平成 19 年 「英語科 4 年制」、「国際ビジネス科」を設置
平成 23 年 「高度専門士」の称号を付与される
平成 25 年 校名を「プロスペラ学院ビジネス専門学校」に変更
平成 27 年 理事長 蔣 惠萍 就任
平成 28 年 「外語キャリア科」、「教育研修生プログラム」を設置
平成 29 年 「人材マネジメント科」を設置
令和 2 年 「国際ビジネス科 IT ビジネスコース」設置
令和 3 年 「DX ビジネス（1 年制）科」を設置
令和 4 年 「DX ビジネス（2 年制）科」を設置

(3) 学生数

学科名	定員	収容定員	1 年次	2 年次	合計
外語キャリア科	20	0	0	0	0
国際ビジネス科	430	860	61	298	359
DX ビジネス(1 年制)科	80	80	10	-	10
DX ビジネス(2 年制)科	80	160	6	0	6

(4) 教職員数

事務・教員数(本務)	教員数(兼務)	教員合計	職員数(本務)	教職員合計
22	0	22	12	34

(5) 役員・評議員概要

職名	氏名	任期	備考
理事長	蔣 惠萍	令和2年12月23日～ 令和4年12月22日	
理事	勝又 誉樹	平成31年4月1日～	学校長
理事	田部井 大介	令和2年12月23日～ 令和4年12月22日	
理事	安藤 美佐	令和2年12月23日～ 令和4年12月22日	学外者（会社（株式会社）役員）
理事	斎藤 裕貴	令和2年12月23日～ 令和4年12月22日	学外者（会社（株式会社）役員）
理事	柴垣 楓	令和2年12月23日～ 令和4年12月22日	
監事	菊地 和朗	令和2年12月23日～ 令和4年12月22日	
監事	濱野 香織	令和3年4月1日～ 令和4年12月22日	

2. 事業の概要

(1) 事業概要

1 学生募集活動

- ① 静岡県および愛知県の教育機関への訪問を強化し、2021年4月から2021年12月にかけて毎月、進学担当者および学校長・理事長宛に訪問し、本学の教育理念やビジョンを伝えると共に、入試制度やオープンキャンパス等のイベント案内を行った。新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みてオンラインでの打ち合わせも実施した。
- ② 2021年5月から2022年3月にかけて、各教育機関で卒業対象の学生に向けた学校説明会を開催した。遠方の教育機関や新型コロナウイルスの影響により学内で説明会の開催ができない学校に対しては、オンラインで説明会を実施した。2020年度は説明会を72回実施した。
- ③ 2021年5月から2022年3月にかけて、オープンキャンパスを開催し、学校説明・入試説明・就職実績説明などを行った。感染症対策として、各日程に集中的に参加者を募るのではなく、参加希望日を個別に承り、少人数で開催した。2021年度はオープンキャンパスを66回開催し、延べ298名が参加した。

2 教育活動

i 授業計画書作成方針

【作成過程】

毎年度、学内会議にて授業科目の設定・講義内容の検討を実施する。その検討結果にもとづき、各科目を担当する教員がシラバスの作成を行う。シラバス作成には学内統一の様式を使用し、科目名・授業の目的・教員・年間単位時間・目標・授業計画・授業方法・評価の方法等を記載する。

【作成・公開時期】

シラバスは12月～3月に担当教員が作成し、3月に学内で確認し承認する。その後、4月にシラバスを学校ホームページで公開する。

ii 成績評価の方針

学生規則の細目において、成績評価方法を規定している。

成績は学期ごとに算出する。各科目100点満点とし、シラバスにもとづいて、定期試験と平常点により総合的に評価する。成績は、S：100-90点、AA：89-80点、A：79-70点、BB：69-60点、B：59-50点、CC：49-40点として、学生に通知される。40点以上を取得したものを合格とする。

不合格者には再試験等を実施し、合格基準を超えたものにC：再試験合格の評価を与える。合格基準に満たなかったものにはF：再試験不合格の評価を与える。

上記の評価方法については、学生規則をオリエンテーション時に学生へ配布して説明している。

iii 卒業認定の方針

プロスペラ学院ビジネス専門学校は、教育基本法に則り、学校教育法に従いつつ、人格形成と共に社会情勢に即応し国際的視野に立って、実社会に役立つ人材を養成することを目的とする。この教育目的にもとづき、下記に示す知識・技能・態度を習得していることを卒業の要件とする。

- 1 実社会で求められる専門分野における知識・技能を身につけている
- 2 国際的な視野に立ち、多様な背景を持つ人々と共同できるコミュニケーション能力を身につけている
- 3 「あなたがいてわたしがいる」という言葉に表される、他者を思いやり理解する態度を身につけている

上記の知識・技能・態度を身につけ、学則で定める就業年限以上在籍し、所定の単位時間以上の学習を修めた学生に対して、卒業を認定する。

(2) 施設等の状況

設置学校の校舎所在地

静岡市駿河区丸子 5522-1

校舎 面積

種別	面積 (㎡)			備考
	専用	共用	計	
校舎敷地	2845.00		2845.00	
計	2845.00		2845.00	

校舎

部 屋	延床面積 (㎡)			備考
	専 用	共 用	計	
普通教室	911.20		911.20	
実習室	321.60		321.60	
事務室	33.60		33.60	
職員室	131.3		131.3	
保健室	12.48		12.48	
便 所	157.03		157.03	
その他	1161.67		1161.67	
計	2728.88		2728.88	

(3) 組織体制

すべての学科・コースにおいて、卒業後実社会に貢献できる人材育成のために、実務経験をもつ教員等を配置している。また、DX ビジネス（1年制）科、DX ビジネス（2年制）科の開設にともない、日本のデジタルトランスフォーメーション（DX）を牽引する人材育成のため、各種社内研修を受講した人材を教員として配置している。その他にも、就職活動の支援のため、キャリアサポートを専門とする教職員を配置している。

(4) 事業計画及び進捗状況

1 教育研究の取り組み

新型コロナウイルス禍でも継続的な学習を保証するため、希望するすべての学生にタブレット端末を貸与し、緊急事態宣言等でも遠隔教育の充実を図った。

DX ビジネス（1年制）科、DX ビジネス（2年制）科の教育課程の作成においては、外部の大学研究者と連携し、カリキュラム開発の監修を受けている。

静岡県内を中心に多くの企業と連携し、校内・オンラインで企業説明会を実施した。2021年度は合計44回の校内企業説明会を実施した。

2 教職員の質向上

社会に貢献する人材の育成を目指し、教職員に対しては、役職に応じた研修を行っている。

また、ベテラン教員による新人教員の教案の確認、教員相互の授業見学など、教育力を高めるための取り組みを継続的に実施している。

3. 財務の概要

(1) 令和3年度決算概要

1 貸借対照表の状況

令和3年度決算においては、総資産額は前年度より19百万円減少、純資産額は前年より166百万円増加している。

2 収支計算書の状況

令和3年度決算においては、経常収支差額が166百万円となった。

以上